

本号と次号の2号にわたって潰瘍性大腸炎とCrohn病の長期経過が主題として取り上げられる。当初の企画では両疾患を一括して“炎症性腸疾患の長期経過”として取り扱う意見もあったが、病因はともかく全く別個の疾患であるので2号に分けて編集することになった。

潰瘍性大腸炎は直腸から始まって漸次口側に進展していくと成書には記載されているが、実際の臨床では病変の口側への進展はそれほど高率に観察されるものではなく、直腸よりもむしろ口側結

腸のほうが強い活動性を示す症例も散見される。また発症から10年以上の長期経過例では、再発・再燃に対する管理よりも大腸癌合併の監視が重要な課題となる。本号はこれらの問題を中心に、本症の長期経過が論じられている。

掲載された4つの主題論文が上述の問題点解決のための1つの指針を与えている。欧米に比べ症例数では劣っても、本邦ならではのきめ細かい診断学に立脚した研究を今後も続けていくことの重要性が再認識される。

胃と腸

6月号 (第26巻・第6号) 予告

発売予定 6月25日
定 価 1,957円(税込)

主題／Crohn病の長期経過

序 説	Crohn病の長期経過	東京女子医大・消 長 廻 紘
主 題	長期経過からみたX線・内視鏡検査の意義—いつどんなときに検査するか	東北大・3内 樋渡 信夫・他
	Crohn病の長期経過—初診時X線所見からみた合併症出現の予測	九大・2内 飯田 三雄・他
	Crohn病の長期経過からみた外科的治療の評価	福岡大筑紫病院・内 八尾 恒良・他
	Crohn病の長期経過—大腸型・小腸型の病像の推移	鹿児島大・2内 西俣 寛人・他
今月の症例	十二指腸孤立性Peutz-Jeghersポリープの1例	九大・2内 飯田 三雄・他
初心者講座	胃X線検査のポイント—私の精密検査法5. 部位による工夫(1)	西俣寛人・望月福治・芳野純治
症 例	早期食道基底細胞癌の1例	国立病院四国がんセンター 武田 晋平・他
	術中膵管鏡で最終診断しえた表層拡大型膵管内乳頭状腺癌の1例	福井県済生会病院・外科 浅田 康行・他
	直腸原発性悪性リンパ腫の1例	神戸大・1外 笠原 宏・他
	著明な粘液産生がみられた主膵管内乳頭腺腫の1例	癌研病院・外科 関 誠・他
	盲腸膜様閉鎖症の1例	国立姫路病院・放科 石井 一成・他

胃と腸 (第26巻 第5号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 社内案内 (03) 3817-5600

本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1991年5月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,957円(本体1,900円)(配送料81円)

年ぎめ予約購読料22,320円(本体21,670円)

(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 東京7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1991, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• 無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当) 窪田・渡邊・江口・長谷川